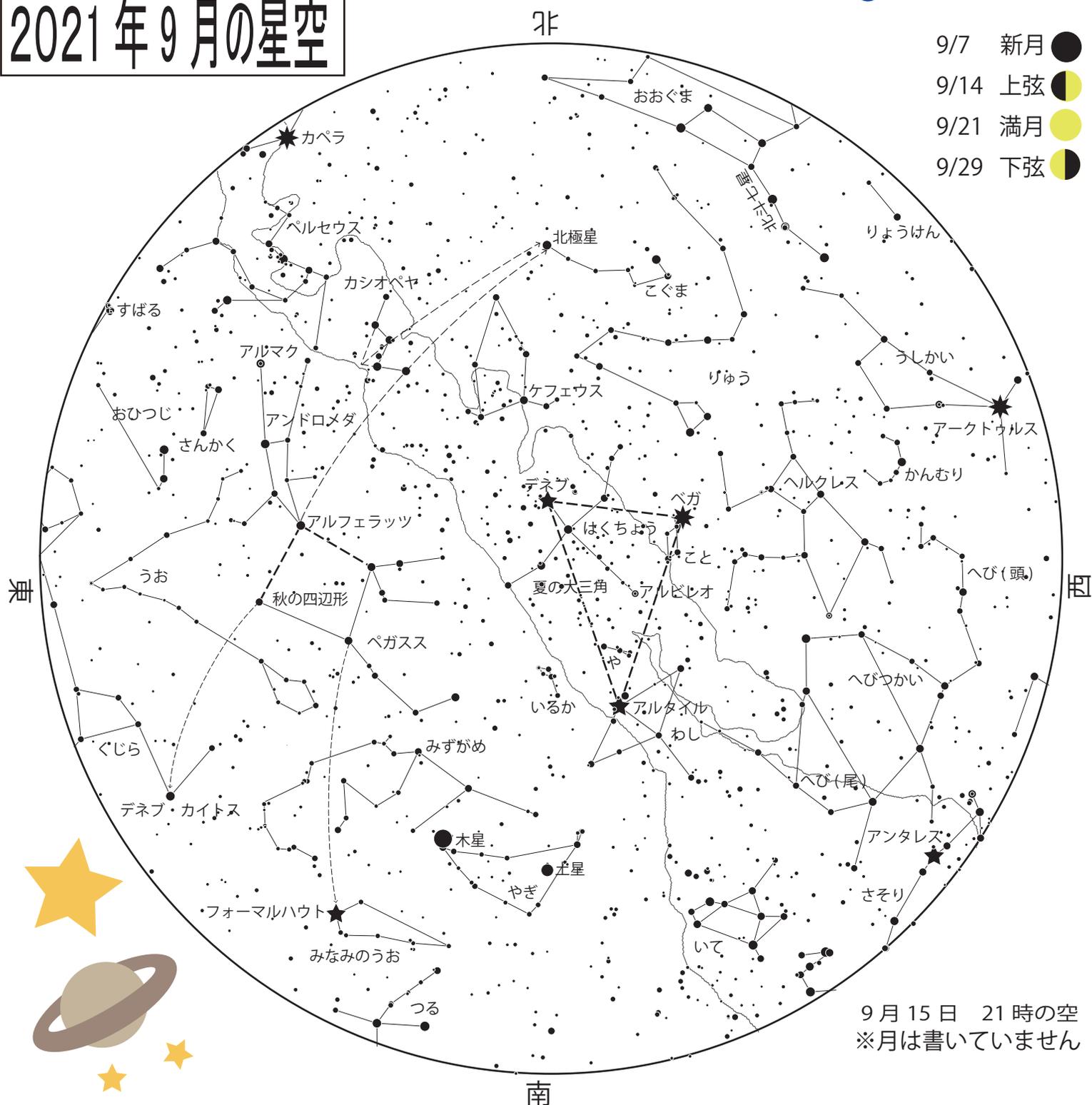


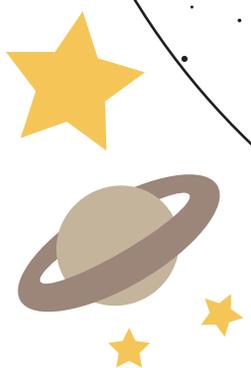
# 姫路で見る 2021年9月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 9/7 新月 
- 9/14 上弦 
- 9/21 満月 
- 9/29 下弦 



9月15日 21時の空  
※月は書いていません



夏が終わり秋へと移り変わる今の時期、星空では夏の星座に続いて秋の星座も上ってきます。こと座の1等星ベガ、わし座の1等星アルタイル、はくちょう座の1等星デネブを結んでできる大きな三角形が、夏の夜空の目印「夏の大三角」です。この大三角から南西の空には、いて座が見えます。夏の星座、いて座から東の空へかけて、やぎ座、みずがめ座と、誕生日の星座の中でも秋の星座が並びます。

東の空に見える秋の夜空の目印「秋の四辺形」は、ペガサス座の胴体部分です。この四辺形の西の辺を南へ伸ばすと、秋の星空でたった1つの1等星、みなみのうお座のフォーマルハウトが見つかります。フォーマルハウトとは「魚の口」という意味です。

北東の空は、古代ギリシャ神話「エチオピア王家の物語」に登場する人々の星座です。エチオピアの王妃の星座、カシオペヤ座は「W」の形に星が並びます。図のようにしてカシオペヤ座から北極星をさがすこともできます。カシオペヤ座のそばには、王様の星座、ケフェウス座が見えます。「秋の四辺形」の北東の角の星が、この2人の娘、アンドロメダ姫の頭の星です。アンドロメダ座から北東へ、やや明るい星をたどると、この姫を救った勇者の星座、ペルセウス座に行きあたります。

木星と土星が、8月に続いて観察の好期です。